

株式会社 Stella

代表取締役 長谷川 正仁

設立：2017年8月

入居：2022年3月

TEL：053-523-7810

URL：https://xstella.net/ (工事中)



代表取締役 長谷川 正仁氏

◆◆会社概要◆◆

理念：光技術で人に寄り添う

浜松から世界に向けて革新的な技術で世の中を動かす企業を目指します。
環境に優しく、人に寄り添う光技術で、世界に貢献します。

1. 開発業務 光センサ、レーザー等を使う産業機器、医療器械の開発を行います。
最新技術と自然との調和を目指します。
2. コンサルタント事業 IoT 技術や光技術のコンサルタントを行います。
3. 教育事業 これからの時代に必須となるプログラミング技術を教育の現場で活用できる事業を展開します。

◆◆HI-Cube での活動内容◆◆

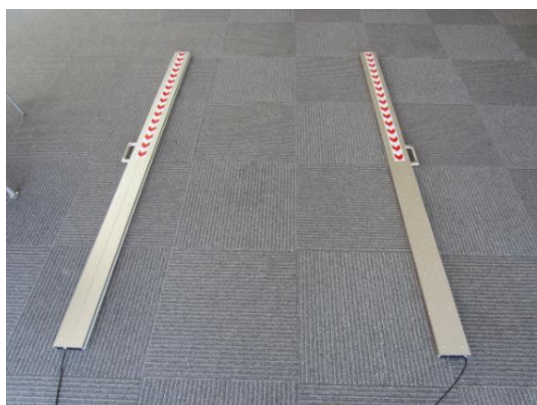
大学などとの研究機関と連携し、研究現場のアイデアから、試作品を製作し提案しています。HI-Cube のご支援のもと、産学官連携へも積極的に参画しています。

1. 光センサを活用した運動能力計測装置 OptStep
時間分解能 1msec、空間分解能 1cm の高速処理で人間の運動能力を非接触で計測します。
2. レーザー溶接、TIG 溶接用 VR ゴーグル Weldig VR
直接目視するのが危険な現場作業を軽減する装置で、カメラ画像を特製の VR ゴーグルで再生します。画像への描画や録画、シャッター速度やガンマ補正など機能豊富です。

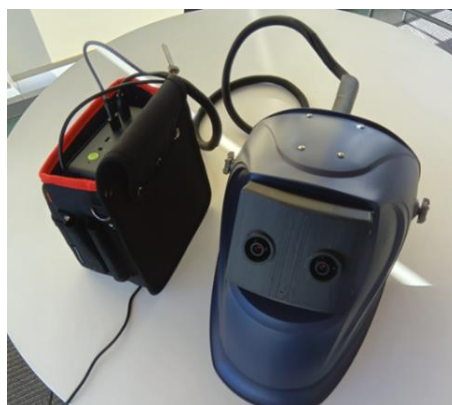
◆◆HI-Cube に入居して◆◆

24 時間入退出可能なので、自身のライフスタイルにあった働き方が出来るのは助かります。
スタッフの方々が作業環境をよくしてくださるので、安心して実務に集中できます。

◆◆製品紹介◆◆



OptStep



VR ゴーグル

目次
P1・P2 ◆入居企業紹介 ・(株)Stella ・(株)プロノハーツ
P3・P4 ◆トピックス ・令和6年度補正予算 補助金のお知らせ
◆HI-Cube からの お知らせ ・入居者募集のお知らせ ・編集後記

入居企業紹介

206 号室

株式会社 **プロノハーツ**

pronoSM
for the Professional

代表取締役 藤森 匡康

設立：2007 年 10 月

入居：2022 年 6 月

TEL：0263-54-0097

URL：https://prono82.com/



2014 年フランス パリ Japan Expo どこでもドアを VR 化して参加。
代表取締役 藤森 匡康氏(写真中央)



2024 年 4 月ドイツ ハノーバーメッセにて製造業向け VR デザインレビューシステム「pronoDR」を展示しました(2023 年に続いて 2 年連続で参加)。
代表取締役 藤森 匡康氏(写真右)

◆◆会社概要◆◆

株式会社プロノハーツは、2007 年に設立された企業です。社名には「プロフェッショナルの心」という意味が込められており、私たちはその名のとおり、専門性と情熱を持って製造業を支援しています。
「3D データを会社の財産に！」を合言葉に、製造業向けのコンサルティングや 3D データ活用のソリューション開発を行い、現場の効率化やデジタル化を推進しています。たとえば、製造業向け VR デザインレビューシステム「pronoDR」の開発や、製品の企画・設計から商品化までを一貫して支援するプロデュース業務を手がけています。また、製造業とゲーム業界の技術を融合させ、新たな価値創造にも挑戦しています。

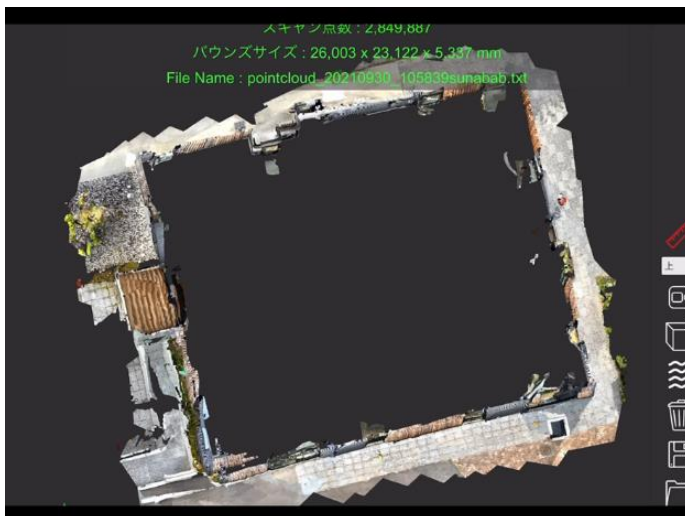
◆◆HI-Cube での活動内容◆◆

Apple 社の iPad Pro や iPhone Pro に搭載された LiDAR 機能を活用し、3D 点群を取得できるアプリ「pronoPointScan」の開発を、株式会社 KENTEM LABO(207 号室)と共同で進めています。また、これらの技術を応用し、LiDAR の軌跡を取得し、ビジュアライズする仕組みの開発にも取り組んでいます。
さらに、最近では IoT 関連事業を展開する関連会社「サンテクノ」と連携し、製造業のデジタル化を一層加速させるための取り組みを進めています。

◆◆HI-Cube に入居して◆◆

この素晴らしい環境の中で、たくさんの企業の皆さまと出会えることを楽しみにしています。お互いの強みを活かしながら、一緒に新しいチャレンジができれば嬉しいです。ぜひ、お気軽にお声がけください！

◆◆代表的な製品◆◆



3D 点群スキャンアプリ「pronoPointScan」



製造業向け VR デザインレビューシステム「pronoDR」事例集より

トピックス

令和6年度補正予算 補助金のお知らせ

今回は令和6年度補正予算における中小企業向けの補助金について、少し解説いたします(令和6年度補正の中小企業対策関連予算は、中小企業庁のHPに資料が掲載されておりますので、ご参照ください。)

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/index.html>

なお、本稿執筆は2025年2月14日現在の情報に基づいていることをご承知おきください。また、実際に補助金を申請される際には、補助金事務局から公表される公募要領等の資料を熟読したうえで申込みいただけますよう、お願いいたします。

従来からある生産性革命推進事業に対して、今年も予算計上されています。この生産性革命推進事業には、ものづくり補助金、IT導入補助金、持続化補助金、事業継継・M&A補助金の他、新設の中小企業成長加速化補助金が含まれています。

【ものづくり補助金】

(製品・サービス高付加価値化枠)

補助上限：750～3,500万円

補助率：中小企業 1/2、小規模・再生 2/3

(グローバル枠)

補助上限：3,000～4,000万円 補助率：中小企業 1/2、小規模 2/3

毎年注目されている、ものづくり補助金につきまして、2月14日に公募要領(第19次公募)が公開されました。内容を見ますと、今回は「製品・サービス高付加価値化枠」と「グローバル枠」の2枠のみとなっており、前回あった「省力化(オーダーメイド)枠」は無くなっております。

「省力化(オーダーメイド)枠」が対象としていた「デジタル技術等を活用した専用設備(オーダーメイド設備)の導入等による、革新的な生産プロセス・サービス提供方法の効率化・高度化を図る取り組み」は、後述する中小企業省力化投資補助金に引き継がれています。

申請件数が多いと思われる「製品・サービス高付加価値化枠」では、対象に「革新的な新製品・新サービス開発の取り組みに必要な設備・システム投資等を支援」と記載されており、過去のものづくり補助金で対象としていた「生産性向上に資する取り組み」の記載が無いことにご注意ください。

令和6年度補正予算(中小企業・小規模事業者等関連予算)	
1. 持続的な賃上げを実現するための生産性向上・省力化・成長投資支援	
<基本的な課題認識と対応の方向性>	
● 物価高や、構造的な人手不足等、厳しい経営環境に直面する中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力」を強化するため、予算・税・制度等の政策手段を総動員して支援。これらを通じ、賃上げ原資を確保し、持続的な賃上げにつなげる	
1. 生産性向上支援の拡充 (ものづくり補助金、IT導入補助金、持続化補助金、事業継継・M&A補助金) [3,400億円(生産性革命推進事業)の内訳]	
● 中小企業・小規模事業者の設備投資、販路開拓、IT導入、事業継継等を支援	
● 例えば、以下の措置拡充を実施	
● 最低賃金超過の事業者に対する支援として、補助率を1/2→2/3に引上げ (ものづくり補助金、IT導入補助金)	
● 設備投資や取引形態等に合わせ、補助上限・枠・要件見直し (ものづくり補助金、IT導入補助金、持続化補助金、事業継継・M&A補助金等) などを実施し、より使い勝手のよい、政策効果の高い支援制度に見直し。具体的には以下の見直しを実施	
(ものづくり補助金)	
➢ 製品・サービス高付加価値化枠について、従業員区分を見直し、21人以上の中小企業を対象に、補助上限を引上げ	
➢ 賃上げ動向を踏まえ、賃上げ要件、運用等を見直し など	
(IT導入補助金)	
➢ セキュリティ等の補助上限引上げ・要件見直し、汎用ツール・導入後支援の補助対象化 など	
(小規模事業者持続化補助金)	
➢ 経営計画の策定に重点化し、枠の整理等、制度を簡素化 (通常枠、副業枠等に再編等)	
(事業継継・M&A補助金)	
➢ PMJを後援するもののPMJ推進枠の創設や、早期承認促進のための枠再編 (事業継継促進枠への改定等)、M&Aのトラスト禁止に資する500万円の支援拡充や100億企業創出加速化を図るための補助上限の引上げ	
2. 新事業への進出にかかる支援の推進 (新事業進出補助金の創設) 【既存基金の活用 (1,500億円規模)】	
● 中小企業・小規模事業者の成長につながる新事業進出・事業転換を重点的に支援するための新たな支援措置を創設	
要件 : 企業の成長・拡大に向けた新事業への挑戦 (新規性) や資金要件	
補助対象経費 : 建物費・機械装置費・システム構築費・技術導入費・専門家経費 等	
3. 成長支援の新設・強化	
● 中小企業成長加速化補助金の創設 [3,400億円(生産性革命推進事業)の内訳]	
意欲ある中小企業・小規模事業者の飛躍的な成長を実現するため、売上高100億円を目指す中小企業等への設備投資や中小規模による多様な経営課題 (M&A・海外展開・人材育成等) への支援等を創設	
要件 : 売上100億円を目指すビジョン・潜在力、資金要件 等	
補助対象経費 : 建物費・機械装置費・ソフトウェア費・外注費・専門家経費	
● 中堅・中小成長投資補助金の拡充 [1,400億円、新規3年3,000億円]	
地方においても持続的な賃上げを実現するため、地域の雇用を支える中堅・中小企業が、足元の人手不足等の課題に対応するために工場等の拠点の新設等の大規模投資を実施することを支援するとともに、大企業から経営人材を受け入れる中堅・中小企業に対する給付金を拡充し、着実な事業成長等を実行可能な経営体制の整備を促進	
● 100億企業育成ファンド出資事業 [30億円]	
中小規模出資ファンドを通じ、売上高100億円超を目指す中小企業等へリスクマネー供給を実施	
4. 省力化投資支援の運用改善	
● オーダーメイド形式も幅広く対象となる省力化投資支援の新設 、カタログ形式の省力化投資支援の運用改善など、全方位型の省力化投資支援へ再編(既存基金の活用 (3,000億円規模))	

【中小企業省力化投資補助金】

(一般型)

補助上限：750万円～1億円 補助率：中小企業 1/2、小規模・再生 2/3

※補助金額 1,500万円を超える部分の補助率は 1/3

(カタログ注文型)

補助上限：200～1,500万円 補助率：1/2

中小企業省力化投資補助金につきまして、新たに「一般型」が創設されています。この補助金では「省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステムなどの導入」を対象としています。

中小企業省力化投資補助金にはこれまで、対象製品のリストに登録された汎用製品から事業課題に合わせて省力化製品を選択する「カタログ注文型」がありましたが、こちらの募集も引き続き行われています。

「一般型」「カタログ注文型」は補助対象経費が異なれば、両方に申請することが可能です。ただ、それぞれ要件が異なりますので、公募要領で内容をご確認ください。なお、「一般型」の第1回目の募集は、3月上旬申請様式公開、3月中旬申請受付開始、3月下旬申請締め切り予定と、非常に短いスケジュールで行われることにご注意ください。

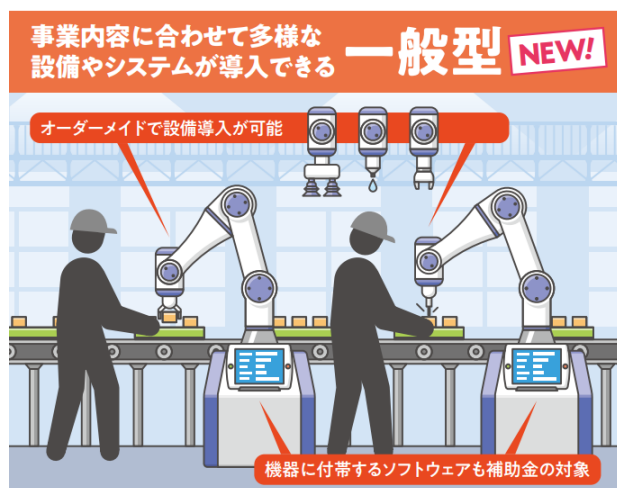
新しく創設される補助金として、他に中小企業新事業進出補助金、中小企業成長加速化補助金があります。

【中小企業新事業進出補助金】

補助上限：2,500～9,000万円 補助率：1/2

中小企業新事業進出補助金は事業再構築補助金の後継となる補助金で、「既存の事業とは異なる、新市場・高付加価値事業への進出にかかる設備投資等を支援するもの」となっております。

新事業進出補助金の創設を受けて、事業再構築補助金は、現在募集が行われている第13回をもって終了となります。



今出ている資料によりますと、4月までに公募要領を公開、その後速やかに募集を開始、令和8年度末までに4回程度の公募を行う、とのこと。

中小企業成長加速化補助金

飛躍的成長を目指す中小企業の設備投資を補助します！

令和7年3月 第1回公募要領公開予定！

売上高100億円を目指す、
成長志向型の中小企業の皆様へ

大胆な設備投資を支援

【中小企業成長加速化補助金】
補助上限：5億円 補助率 1/2

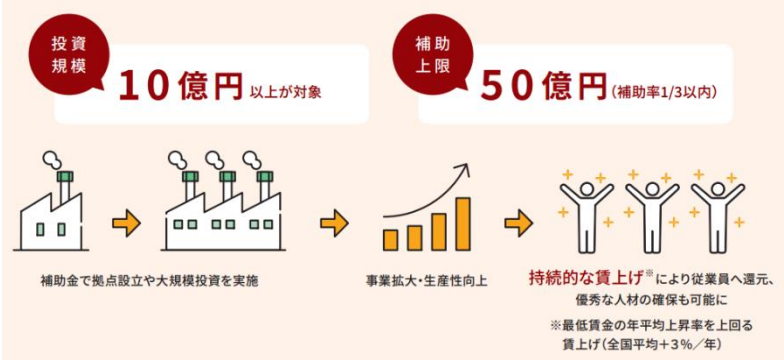
もう1つの新設補助金、中小企業成長加速化補助金は売上高100億円への飛躍的成長を目指す中小企業向けに、大胆な設備投資を支援するものです。要件のなかに投資額1億円以上という文言があり、また補助事業の実施期間が交付決定日から24か月以内と、大型の投資に向けた内容となっております。令和7年3月末までに公募要領が公開され、原則、令和8年度末までに公募を3回程度行い、全体で600者程度の事業者等に対して交付する、となっております。

中小企業新事業進出補助金、中小企業成長加速化補助金においては、補助対象経費に「建物費」が含まれていることも着目すべき点です(まだ詳細は不明ですので、補助金の利用を検討する際には、公募要領の内容を十分にご確認ください)。

【中堅・中小成長投資補助金】
補助上限：50億円 補助率 1/3

大型の投資に向けた補助金として、従前から実施されている中堅・中小成長投資補助金があり、3次公募の開始(令和7年2～3月頃)が予定されています。「足元の人手不足等の課題に対応し、成長していくことを目指して行う大規模投資を促進し、地方における持続的な賃上げを実現すること」が目的に謳われており、投資規模は10億円以上が対象となっております。

こちらの補助金においても、補助対象経費に「建物費」が含まれています。



今回解説した補助金は、中小企業庁が実施する補助金の一部であり、中小企業庁以外の省庁や県、市等が実施する補助金もあります。多くの場合、補正予算ではなく当初予算で実施されます。新年度に始まる補助金の情報がこれから公開されますので、補助金の活用を検討している方は、事務局となるところのHPを注視されることをお勧めいたします。

また、補助金の申請は電子申請で行うことが多くとなっております。中小企業庁が実施する場合は、「GビズID」のアカウントを使用して電子申請を行いますので、アカウントを未だお持ちでなければ、早めに取得することもお勧めいたします。

<https://gbiz-id.go.jp/top/>

昨今の補助金の要件には「賃上げ」が含まれているケースが殆どです。賃上げによって消費が活性化し経済全体の成長に寄与することを期待した、政府からのメッセージと捉えられます。会社の付加価値だけでなく働く人の意欲を高めるため、上手に補助金をご活用ください。

巳巳
己己

HI-Cube からのお知らせ
～入居者募集中!!～

新事業開発、新製品開発(ものづくり、IT、サービス)に取り組む企業、または個人の皆様へ
・24時間365日利用可能・快適な環境、共有スペース開放・中小機構による支援・大学との連携
賃料《浜松市の賃料補助制度》最長5年間の補助(賃料(税抜)1/2以内)が適用可能。

☆～編集後記～☆
本年度も浜松イノベーションキューブ(HI-Cube)をよろしくお願いいたします。
立春が過ぎ、2025年の幕開けとなりました。天の氣:乙(きのと)・地の氣:巳(み)・人の氣:二黒土星(じこくどせい)が1年鎮座します。その中で二黒土星は「コツコツ・継続」がキーワードです。易では二黒土星を表すと「致役(ちえき)」という言葉があります。意味は「役に至る。求められたことをコツコツ、お役に立つようにやる。成果が出るまで時間がかかるから継続する。」です。身近な存在、手元、目の前のことを地道にコツコツやることで天命に気付く事と思います。さて、小さな氣学講座も今号で終了です。長い間お付き合いいただきありがとうございました。感謝しております。(使用和柄:梅紅白梅・七宝花菱・松竹梅・紗綾型まんじ) 谷口・巳巳巳にみきとは(字形が似ていることから互いに似ている物を例えています)。

実験室・研究室タイプ(24.5㎡～63㎡)の
事業に適した部屋があります。

見学大歓迎です。市の補助制度もあります。
起業したい方、新事業を目指す企業の皆様。
IM室では随時相談に応じています。
お気軽にお問い合わせください。

【編集者・発行人】
中小機構 中部本部
(独立行政法人中小企業基盤整備機構 中部本部)
浜松イノベーションキューブ(HI-Cube)IM室
〒432-8003 浜松市中央区和地山 3-1-7
TEL:053(478)0141 FAX:053(473)7221
e-mail:hi-cube-info@smrj.go.jp